

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	旧吉松家住宅	
所在地	串間市大字西方5509-イ	
指定管理者	名称	合同会社 セカンド
	代表者	代表社員 喜多祥一
	住所	串間市大字西方5724-16
モニタリングの実施方針・方法等	毎月、業務報告書の提出を受け、モニタリングを行った。 また、サービスの質については、令和5年2月に書面によるモニター会議を実施し、利用者より意見を拝聴した。	
担当課 (問い合わせ先)	串間市教育委員会 生涯学習課 文化係 (☎0987-55-1163)	

■モニタリングの総合コメント

令和4年度の利用状況については、入館者数が5,857人であり、昨年度と比較して96%の増となっているが、未だ新型コロナウイルス感染症による影響があった。

自主事業については、市内の保育園等に制作協力をいただき、季節に応じた作品を展示したり、雛人形の飾り付けに高校生や宮崎大学の学生に協力をお願いするなど、厳しい状況下でも入館者増の取り組みに努めていることが伺える。

また、動画を作成しYouTubeに投稿したり、館内案内にも工夫を凝らし、魅力発信に努めていた。

施設管理については、協定の範囲内で、自ら改善できるものは迅速な措置を講じており、利用者へ快適な施設環境を提供するための努力が伺える。また、その他については、行政への適時の報告・連絡・相談を怠らず、意思の疎通がしっかりと行われていたことなどから、概ね適正な対応がとられていたと認めることができる。

■今後の業務改善に向けた考え方

国の重要文化財としての魅力発信に努め、見学者増加を図る。

自主事業については維持管理に支障のない範囲、国指定重要文化財としての価値に鑑みた内容について検討する。

■ 基本的な考え方(施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

文化財としての価値を維持しながら活用するという目的を大過なく運用され、見学者への接遇や案内説明も平等かつ丁寧に行われている。住宅の風情を生かした催しや撮影会等も誘致できていた。

■ 業務内容

・機能性・独創性(事業への具体的な取り組み方)

自主事業として、感染予防対策を徹底して、「5月の節句飾り」「ひなまつり」「夜のライトアップ」等を実施している。

・責任性・実効性(施設の運営体制や組織)

職員2名及び来館者接遇スタッフ1名という勤務体制で、協定書に基づいた管理運営が行われており、連絡調整会議等において市と指定管理者間の意思疎通もなされている。

・明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

教育委員会との定例会において、確認作業、意見交換を行うことにより、協定書に基づいた適切な施設管理、事業執行及び事務・会計処理等が行われたと判断できる。

・安全性(安全管理、緊急時等の対応)

指定管理者の主権による年1回の防災訓練が実施され、初期消火や避難誘導などの訓練により緊急時の対応を講習されている。担当課等との緊急連絡網も整備されている。新型コロナウイルス感染拡大防止に係る、基本的な感染予防対策も実施されている。

・社会性(環境等への配慮)

常に敷地内の清掃や、竹林の伐採管理等が行われている。庭木の害虫については定期的に確認がされ、有毒害虫の発生に対しては速やかに駆除するなど、管理が行われている。

■ 事業収支

経済性

令和4年度の収支は、収入11,408,012円に対し、支出11,273,208円となっている。

■ 団体の経営状態

経営の健全性

経営面における借入や損失はなく、運営業務に関しては指定管理委託料内で計画的な執行がなされている。